

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	緑内障の視野感度に関する研究
研究責任者	眼科 朝岡亮
研究実施体制	尾花明 聖隷浜松病院 眼科 アイセンター長 郷渡有子 聖隷浜松病院 眼科 主任医長 石井香利 聖隷浜松病院 眼科 医師 中澤理紗 聖隷浜松病院 眼科 医師 高柳佑二 聖隷浜松病院 眼科 医師 守山貴宣 聖隷浜松病院 眼科 視能訓練士 藤野友里 聖隷浜松病院 眼科 視能訓練士 福與ほなみ 聖隷浜松病院 眼科 視能訓練士 庄司信行 北里大学医学部付属病院 眼科 教授 平澤一法 北里大学医学部付属病院 眼科 講師
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日
対象者	緑内障、白内障で当院で検査された方。
研究の意義・目的	緑内障では視野の正確な評価が重要です。通常視野検査では感度閾値のみが出力されますが、本研究では通常の視野感度閾値のみならず、各視標明度に対する応答履歴を取得し、これを用いた解析を行うことでより良い視野感度推定を行う方法の構築を行います。
研究の方法	AP7700 視野計(興和株式会社)による24-2、30-2、10-2プログラムの計測結果について、連結可能な匿名化を施行ののち興和株式会社へ視野測定ログを送付し、各視標明度に対する応答履歴を取得します。この応答履歴から視感度曲線(frequency of seen curve)を推定し、これを用いることで視野感度をより正確なものに update します。 得られた視野感度について、まず、視野の再現性や進行検出能の改善の解析を行う。さらに、ニデック社光干渉断層計 RS3000 で測定された網膜神経線維層厚や神経節細胞層厚と静的視野感度の間の structure-function の関連を解析します。 更にはハンフリー視野計(Carl Zeiss 社)については各視標明度に対する応答履歴を取得することが出来ませんが、この出力データ(感度閾値)についても光干渉断層計と合わせることで視感度曲線(frequency of seen curve)を推定することによる視野感度の update を行い、視野の再現性や進行検出能や structure-function などの改善を行えるかの検証も行います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただ

	くことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 眼科 （氏名） 朝岡亮 TEL:053-474-2222(代表) 眼科外来 9:00～17:00 平日